

## 2部 ワークショップ（続き）

### ⑦カレンダーでバック作り

カレンダーがこんなかわいいバックになるなんて、楽しかったな。カレンダーには、ディズニーや車の絵柄など、いろいろな絵柄があって、私はディズニーを選びました。二つも作りました。教えてくれた講師のおばあちゃんの話もとても楽しかったです。体育館での感想発表で、みなさんの前で手を挙げてバックを見せたのもいい思い出になりました。



### ⑧牛乳パックでコマ作り

牛乳パックの底を2枚と麻ひもを使って、ぶんぶんごまを作りました。パックの底に子どもが好きな絵を描き、穴を二つ開けてひもを通します。ひもをくるくる回した後に左右に引くと回り出します。「ぶんぶんならないけど回った」と大喜びしていた子どもたち。しだいに音が出るようになると、喜びは最高になりました。



### ⑨牛乳パックで年賀はがき作り

牛乳パックは、木材から作られたとてもきれいなバージンパルプで作られています。体験では、この牛乳パックから表面のつるつるした部分をはがしてパルプ（紙のもと）を取り出し、紙をすきました。世界に一つだけのハガキです。牛乳パックからトイレトペーパーができるなんてすごいと思いました。むずかしかったけど、作れたからうれしいです。



### ⑩「エコラベルカード」で神経衰弱

エコラベルは、環境に気をつけて作られている商品の目印です。森や海を守るなど色々なエコラベルについて学び、どこについているのか探した後、神経衰弱をしました。何となく見ていたマークも、しっかり意味があることを知りました。エコラベル商品探しは競争じゃないのに、闘争心がわいたのはなぜだろう・・・とても盛り上がりました。



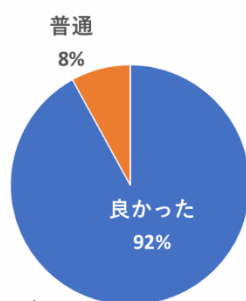
## 参加者アンケートの結果について

子ども環境フォーラム2024の内容について参加者にアンケートをした結果では、良かったとする人が92%、普通とする人が8%であり、良くなかったとする人はいませんでした。参加者からの感想では、「いろいろな活動があって、小学生たちががんばっていてすごいなと思いました」、「社会問題などについてよく分かり勉強にもなりました」などの声が寄せられました。

## 編集後記

コロナ以降2回目の対面開催となり、各団体の素晴らしい取り組みを元気に発表している姿や、各ワークショップでは楽しそうに取り組んでいる姿を見ることができ、大変有意義だったと思います。開催にあたり全面的にご協力いただきました安行小学校、発表団体の皆様とご指導いただきました先生方、事前準備いただき楽しいワークショップを開いていただきました講師の皆様、ご後援いただきました川口市教育委員会様、ご協力に大変感謝申し上げます。

### フォーラムの内容の評価



発行 2025年1月  
認定NPO法人川口市民環境会議  
<https://www.ne.jp/asahi/eco/ecolife>

# 子ども環境フォーラム2024

開催場所：川口市立安行小学校

2024年11月30日(土)実施



主催：認定NPO法人川口市民環境会議  
（川口市地球温暖化防止活動推進センター指定団体）  
後援：川口市教育委員会  
協力：川口市立安行小学校

## プログラム

<敬称略>

- |       |                                   |                   |
|-------|-----------------------------------|-------------------|
| 13:00 | フォーラム開会あいさつ                       | 浅羽 理恵 中田 智博 春川 嘉孝 |
| 13:30 | 1部 環境活動発表                         |                   |
|       | ・川口自然っ子クラブ ・ダンちゃん倶楽部(ひまわりプロジェクト)  |                   |
|       | ・安行小学校環境委員会 ・安行小学校子どもエコクラブ        |                   |
| 14:00 | 2部 ワークショップ体験                      |                   |
|       | ① 玉ねぎや木の皮で布を染めてみよう                | 神山 裕則             |
|       | ② 自然材料でもの作り                       | 井原 勲              |
|       | ③ 繭から糸を作ってみよう                     | 菊次 哲也             |
|       | ④ 地元の自然木を使って個性たっぷりの「フェアリーハウス」を作ろう | 小野 由加利            |
|       | ⑤ 樹木ラリーと木の実と落ち葉の図鑑作り              | 中田 真也子            |
|       | ⑥ 赤堀用水と安行原の湧水を調べよう                | 荒川夢クラブ            |
|       | ⑦ カレンダーでバック作り                     | 新納 千枝子            |
|       | ⑧ 牛乳パックでコマ作り                      | 四條 延子             |
|       | ⑨ 牛乳パックで年賀はがき作り                   | 谷崎 英子             |
|       | ⑩ 「エコラベルカード」で神経衰弱                 | 太田 樹              |
| 15:30 | ワークショップの報告会                       |                   |
| 16:00 | 閉会あいさつ                            | 生形 時夫             |



この事業は、公益財団法人サイサン環境保全基金からの助成と、株式会社銀座コージーコーナーの寄付により実施しました。





子ども環境フォーラム2024は、11月30日(土)に、安行小学校において、市内小・中学校から150名のお友達や保護者の方が参加して行いました。環境にやさしい取り組みなどの活動発表を聞き、自然素材のものの作りや自然観察などのワークショップに参加して、いろいろなことを学び、環境のためにできることを考えました。



## 1部 環境活動発表

### 川口自然っ子クラブ

見沼自然の家を中心に5つの活動をしています。1つ目は「田んぼの活動」で、古代米を植え収穫し餅つきやしめ縄作りをします。2つ目は「生き物調査」で、見沼代用水周辺の生き物の観察やアカガエルの卵を数えています。3つ目は「自然観察会」で、夏には夜遊びツアーをしました。4つ目は「自然素材でものづくり」で、和紙や竹とんぼ作り、藍染めをしました。5つ目は「世界の子ども達と手をつなごう」で、ラオスの子供達に文具や絵本を贈る活動と、ボルネオの動物たちを守るため、開発によって減ってしまったジャングルに、土地を買って木を植える活動をしました。



### ダンちゃん倶楽部(ひまわりプロジェクト)

ダンボールを利用し、生ごみからたい肥をつくる活動を行っています。その中の「ひまわりプロジェクト」では土壌が汚染されひまわり栽培ができなくなった福島にかわってひまわりを育て、とれたタネを送る活動をしています。タネを植える時はネットを使い、同じ間隔になるようにしました。畑には大きな看板をたて、ひまわりの絵と「おおきなあれ」と書きました。ひまわりは背丈より大きくなりました。タネをいっぱいとり、干して福島に送りました。福島の作業所ではひまわりの種から油を作って、生協などで売られています。油をしばらくカスはまたたい肥にして畑にまきます。



### 安行小学校環境委員会

主な活動は、①牛乳パック・古紙回収。②コンポスト・土づくり。③くすのきチケットをつかったエコマーケットです。各クラスで牛乳パックを開いて洗い、乾かし、回収箱にきちんと入れて持ってくれば、くすのきチケットを渡します。1年生には、牛乳パックの開き方を教えに行きます。1年生は、きれいに開くことができれば、5くすのきチケットをもらえます。このチケットはアカガエルやメダカの卵、カイコやカブトムシの幼虫と交換できます。また、エコマーケットで金のように使って、買い物もできます。これからも楽しくエコ活動をしていきます。



### 安行小学校子どもエコクラブ

安行小の校庭にはたくさん大きな木があり、QRコードで説明を読むことができます。飼育しているヤギは除草に協力してくれます。絶滅危惧種のアカガエルを里親で飼育しています。カイコの飼育もしており、夏休みの自由研究で「カイコの成長日記」をまとめ会場で配りました。「田んぼビオトープづくり」プロジェクトで休耕田を借りて米作りをし、「落ち葉プロジェクト」で精米で出た米ぬかと木の落ち葉から畑の土を作って作物を育てています。エコクラブでは、「いのちのつながり」をテーマにエコ活動をしていきます。



### ①玉ねぎや木の皮で布を染めてみよう

玉ねぎの皮とラオス産の木を20分くらい煮出して、室温にさします。布にビー玉と輪ゴムを使い絞りを作り、煮出した液に布をつけ手でもみながら、液を染み込ませます。“水洗い→ミョウバン液につける”を3回繰り返して仕上げます。輪ゴムを外して水洗いをして完成です。玉ねぎの皮では黄色に、ラオス産の木ではピンク色に染まりました。



### ②自然材料でもの作り

講師から、小さな穴がたくさんある木片に、木の実を刺した爪楊枝が数本だけ刺してあるものが参加者に渡されました。教室の前方にドングリなどの自然の材料が紙の箱に用意されており、それらを自由に組み合わせ、普段は作れない芸術作品を作ります。ちがうドングリとドングリをバランスよく組み合わせ作品を作るのがおもしろかったです。



### ③繭から糸を作ってみよう

カイコの繭(白と黄があります)は、ほどくと一本の糸になります。まず、繭を湯に入れ、糸の端を見つけます。なかなか糸の端が見つからず、大変でした。次に、自分で作った段ボールの糸取り枠に巻き取っていきます。くるくる、くるくる、おもしろい作業です。段ボール枠に巻き取られた、できたての糸(絹糸)は光って美しかったです。



### ④地元の自然木を使って個性たっぷりの「フェアリーハウス」を作ろう

フェアリーハウスはアメリカの子供たちが昔から楽しんでいる遊びで、丸太の土台と木でハウスを作り、木の皮や枝、松ぼっくりや薄い板で屋根を作り、窓や入り口を木の実や小枝、草などで作ります。自然素材を折ったりむいたりするので、自然を五感で感じることができます。とっても素敵なハウスができたので家に飾ろうと思います。



### ⑤樹木ラリーと木の実と落ち葉の図鑑作り

スマートフォンを用いて安行原の樹木探検をしました。樹木にはQRコードが書いてある案内板がかかっている、QRコードを読み込むと木の種類や特徴が書かれていました。講師から指定された木を探し出し、落ち葉やドングリを拾い、葉や花も特殊なボンドで台紙に貼り付け、図鑑を作りました。指定された木が最初は見つけにくかったけれど、みんなで助けあって完成させました。



### ⑥赤堀用水と安行原の湧水を調べよう

赤堀用水ではみんなで協力しフェンス越しに採水器を投じて採水し、安行原では池から湧水を汲んで採水しました。次に、安行原自然の森の木のテーブルやイスに陣取って、それぞれの透視度とCODを測りました。細長い器具に検査水を少しずつ入れて、上から覗いて透視度を測るのが楽しかったです。測定結果は、模造紙に大きく書いて発表しました。

